

陸自オスプレイ立川飛来

東京都市部に初市民ら抗議

陸上自衛隊のオスプレイについて自治体に「航法訓練、離着陸訓練のため。訓練終了後、速やかに木更津へ帰投する」と説明しています。
→関連⑤面で國立・立川・昭和団体が立川駐屯地正門前で抗議行動。午前11時より、前、自衛隊の移駐議長は「立川市民以外の都内への飛来は初。防衛省はオペフレイ飛行に

オスプレイ一機が飛来し、離着陸を繰り返し、11時15分すぎに飛び去りました。抗議行動のリレートークで國立・立川・昭島地域労働組合総連合の柿田芳和副議長は「立川市民は約50年前、自衛隊の移駐に反対しました。今度はオスプレイが来た。政府が専守防衛を投げた。」と語りました。

三井住友の反対運動が広がり、米軍を手を擧げさせた歴史がある。オスプレイの訓練を許してはならなかった」と語りました。

日本共産党市議団も発言。中町代行の国長は「オスプレイはクリッチの不具合も解決していない。飛来が許されない」と語りました。

A black and white photograph of a Boeing CH-47 Chinook helicopter. The aircraft is shown from a front-three-quarter angle, parked on a tarmac. The rear main rotor is prominent at the top. The side of the fuselage features the text "CH-47" and the tail number "81714". The rear cargo door is open, providing a view into the interior. In the background, other aircraft and parts of an airport are visible.

陸上自衛隊立川飛行場に飛来する
オスプレイ＝1日、東京都立川市